



株主の皆様へ

証券コード 7887

---

## 第59期 報告書

平成23年4月1日～平成24年3月31日

---

暮らし・心・環境に。プラスイノベーション。

**+++ INNOVATION**

## [ 経営理念 ]

私たち南海プライウッドは、  
独自の発想と経営で革新にチャレンジし、  
お客様の求める真の価値を創造し、  
ステークホルダーおよび社会との  
調和ある安定成長を実現します。

## [ コーポレートステートメント ]

この理念のもと、企業の社会的責任を追求しています。  
安心・安全・快適。品質第一のものづくりを推進し、  
自然と住まいに優しい環境優先型製品の開発を通じ、  
住宅文化の発展向上と持続可能な社会を目指すとともに、  
法令を遵守した公正な社会創りに貢献するために  
社会に対し3つの誓約を実践します。

### 行動規範 理念実現のための 3つのPROMISE

#### 1 暮らし+INNOVATION

安定持続社会のために企業倫理を守ります。  
ステークホルダーの安心の暮らしを守るために  
CSR/コンプライアンスを経営の中枢においた  
態勢を構築します。

#### 2 心+INNOVATION

お客様の心を満たします。  
大切なお客様の笑顔を守り、  
信頼を築く態勢を構築します。

#### 3 環境+INNOVATION

あらゆる環境の持続に努めます。  
自然・社会・人の環境持続を優先した  
態勢を構築します。

## ごあいさつ

代表取締役社長

丸山 徹



株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。  
ここに第59期報告書をお届けするにあたり、一言ご挨拶申し上げます。  
当連結会計年度のわが国経済は、東日本大震災の影響による  
国内経済の停滞から緩やかな回復基調になりましたが、依然として  
厳しい状況にありました。

当住宅業界におきましては、震災による影響が懸念されましたが、  
上期は各種住宅取得支援制度の効果により、新設住宅着工戸数  
に緩やかな持ち直しの動きが見られました。下期に入り、住宅取得  
支援制度の打ち切りや終了を控えて消費マインドは低下し本格的  
な回復には至りませんでした。

このような状況のなか、当社グループは、グループの経営基盤の  
強化を進めております。具体的には、当社基幹情報システムを  
新システムへ移行し業務の効率化を図りました。また、人事制度および  
退職金制度も社員が納得して活躍できるように新しく制度を構築  
いたしました。海外におきましては、海外生産を活用した低コストの  
収納材を安定供給するためにPT.NANKAI INDONESIAでは、  
原木を製材し棚板などの材料となる「集成板」に加工する第2工場  
を建設いたしました。また、中国市場への製品販売を行うため上海  
駐在員事務所を設置し情報の収集に努めてまいりました。

先行きの景気は、世界経済のグローバル化により、世界の出来事が、  
すぐに国内の経済や企業業績に反映されますので不透明な状況が  
続いていくと思われまます。

当社グループといたしましては、金利・為替・株価・原材料価格など、  
さまざまな経済指標に気を配りながら、グループの目標達成に向けて  
全社員一丸となりがんばってまいります。

株主の皆様におかれましては、なにとぞ一層のご支援、ご鞭撻を  
賜りますようお願い申し上げます。

平成24年6月

## +++ INNOVATION NEWS

## 子会社の設立に関するお知らせ



当社は、平成24年3月26日開催の取締役会において、中華人民共和国に子会社を設立することを決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

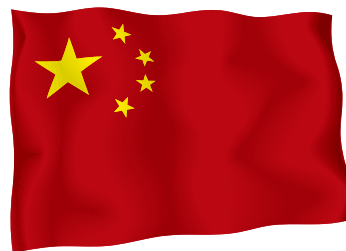
### ■ 子会社設立の理由

経済成長を続ける中国国内における住宅市場は堅調な拡大を続ける見通しであります。

当社では、平成23年5月に上海市に駐在員事務所を開設し、中国国内の住宅市場の情報収集、分析活動を行っております。次のステップとして、中国における販売事業を当社の新たな収益基盤の獲得と捉え、販売体制の構築及び販路の開拓を目的として、当社100%出資の現地法人を設立することといたしました。

### ■ 子会社の概要

商 号：南海建材商貿(上海)有限公司(仮称)  
 代 表 者： 董 事 長 玉 置 康 洋 (当 社 取 締 役 執 行 役 員) ( 予 定 )  
 所 在 地： 中 華 人 民 共 和 国 上 海 市  
 設 立 年 月 日： 平 成 24 年 10 月 ( 予 定 )  
 事 業 内 容： 木 材、木 材 製 品 及 び 建 築 部 材 の 販 売  
 決 算 期： 12 月 末  
 資 本 金 の 額： 42 万 米 ド ル  
 出 資 者： 当 社 100%



キッチンで使用する調理用品や食器類から  
家電用品・ダストボックスまで、  
すべてを収納できるUniMo (ユニモ)、新登場です。

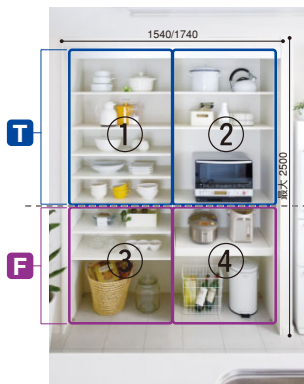
UniMo  
キッチン収納 ユニモ



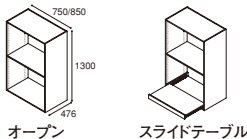
UniMo (ユニモ) は、リビング側から煩雑に見える家電用品も含めたすべてのキッチン用品を扉内に収納できます。さらに、床から天井までの大容量収納を実現しており、引出しやスライドテーブル付きのユニットなど、扉内部のバリエーションも豊富で、収納する物や量に合わせてプランニングできます。

- 上下左右に分離した4つのユニットを並べて固定・連結するだけの簡単施工。
- 造り付け収納にすると置き家具のように動かず、地震による転倒の心配がありません。
- 人気の大型レンジが収納できます。
- 便利なオプションを追加して自由にアレンジできます。
- 引出しの最下段は2Lペットボトル収納可能です。
- 扉のパネルカラーは3色ご用意。

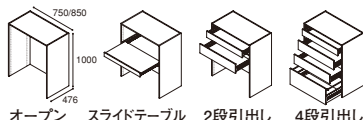
UniMO (ユニモ) とは、収納する物や量に合わせて、  
4つのユニットを自由に組み合わせることができるキッチン収納です。



**T** トップユニット (W750/850×D476×H1300)  
2種類の中から2つ選択。



**F** フロアユニット (W750/850×D476×H1000)  
4種類の中から2つ選択。



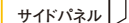
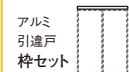
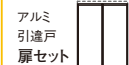
オプション

使いやすさを考えてオプションを追加。わが家流にカスタマイズ。



扉・納め材

カラー・高さを選択。



# ARTLUMBER Lif

インテリアロングボード アートランバー リフ

深化した美しさを今…

アートランバーリフが生まれ変わりました。



お部屋の雰囲気に合わせて選べる木目カラーに新色を加えラインナップ。



**NEW**

ホワイトオープンコール



ナチュラルウォールナット



**NEW**

ベージュオーク



**NEW**

ブラウンウォールナット



ブラックウォールナット

自由に組み合わせ可能な  
収納ユニット満載。  
さらにあなたらしいデザインに。



シェルフアルミパネル



ドロワーボックスA



CDラック

長尺でも軽量化を実現。



ファルカタ材の使用により軽量化を実現。長尺でも耐荷重棚でありながら、運搬も施工も、一人で行なえます。  
※アートランバーリフ重量：2M仕様=約10kg、4M仕様=約20kg

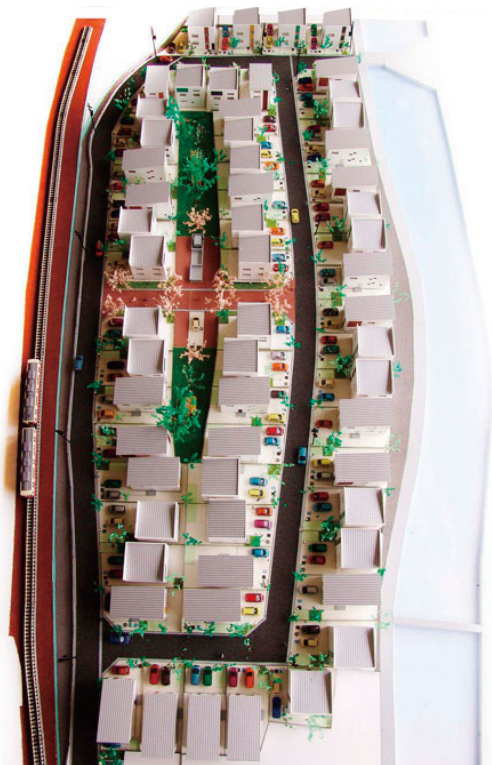
完全フリーカット仕様。



ベタ芯構造なので、フレキシブルにカット、釘打ちが可能。どんなスペースにも現場加工により使用できます。



## +++ INNOVATION NEWS



テナンガーデン完成予想模型



景勝地・屋島に隣接するテナンガーデン全景



インディニ3・ユニモなど弊社収納製品を多数設置

# Tenang Garden Yashima

2385-8 / 2385-9 / 2385-10 / 2385-11, Takamatsucho Aza kadoya Takamatsushi, Kagawa, Japan



Tenang：和み(インドネシア語)

## 新居住空間「和みの庭・テナンガーデン」屋島に誕生。

創業の地でもある高松市高松町・屋島工場跡地(総開発面積12672.9m<sup>2</sup>)に、モダンスタイルの戸建賃貸住宅を10棟先行建設しました。新しい居住空間の提案をコンセプトに弊社の「キッチン収納・ユニモ(新製品)」「ダイニング収納・インディニ3」「インテリアロングボード・アートランパー リフ(リニューアル)」等の収納製品の数々を設置しています。今後も全58棟分ある区画に、緑豊かな街創りを行なっています。製品販売のみならず、総合的な居住空間の提供を実践する南海プライウッドです。

## 当期の概況

当社グループでは、東日本大震災の影響により依然として厳しい経済状況のなか、業績回復に全力で取り組んでまいりました。

木材関連事業におきましては、資材供給の安定化を目的に植林事業をはじめとする海外生産体制の強化と、内製化も含む国内製造ラインの改造、また、より正確な需給調整を目的とした基幹システムの再構築などを行いました。製品においては、主要製品の仕様を統一することで、資材の共通化、コストダウンを図る一方で、新製品のカラーバリエーションを増やすなど、顧客ニーズへの対応を行いました。

一方、電線関連事業につきましては、官公庁の予算削減および民間設備投資減少の厳しい環境の下、物件営業を中心とした提案営業の強化を図り、売上増加に努めました。

以上の結果、当連結会計年度の業績は、売上高124億54百万円、営業利益10億13百万円、経常利益7億73百万円、当期純利益58百万円となりました。

## 次期の見通し

今後のわが国の経済情勢は、本格化する震災復興のための各種政策効果を背景に景気の持ち直し傾向が期待されますが、欧州の債務問題、原油価格の上昇等による海外景気の下振れ懸念や、長引く円高の影響など、景気の先行き不透明感が継続するものと思われます。

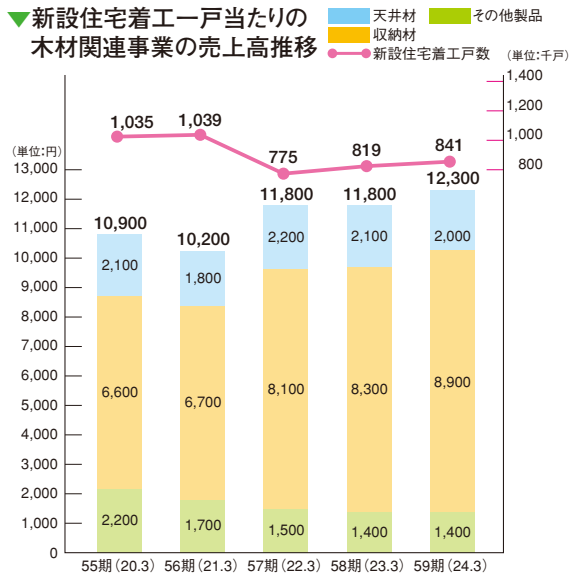
当社グループといたしましては、営業力の強化と顧客ニーズを捉えた対応、原価の削減および高品質の製品供給に注力してまいります。

木材関連事業におきましては、安心して使用できる製品の供給にあたり、原材料の安定供給を推進し、生産体制の充実を図ってまいります。

一方、電線関連事業につきましては、厳しい環境での営業展開が予想されますが、引き続き顧客のニーズに対応できる提案営業推進に努め、地域密着型企业へと変化していく所存であります。

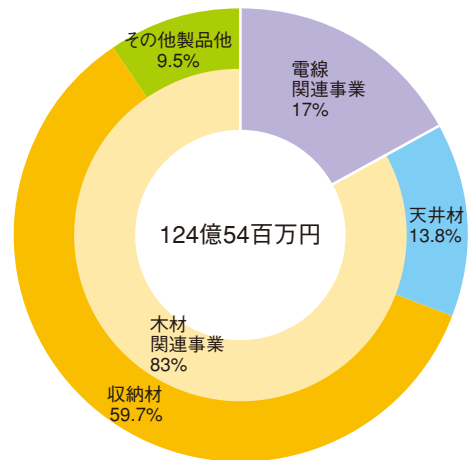
次期の連結業績は、売上高128億円、営業利益6億円、経常利益7億60百万円、当期純利益4億50百万円になるものと予想しております。

### ▼新設住宅着工一戸当たりの 木材関連事業の売上高推移



注) 売上高は、外部顧客に対する売上高であります。

### ▼セグメント別の連結売上高構成



## 連結財務諸表の要旨

## 連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当連結会計年度 (平成24年3月31日)
<b>■資産の部</b>		
<b>流動資産</b>	<b>9,358</b>	<b>9,370</b>
現金及び預金	2,651	1,278
受取手形及び売掛金	4,337	4,642
商品及び製品	701	581
仕掛品	550	845
原材料及び貯蔵品	882	1,685
繰延税金資産	89	82
デリバティブ債権	31	73
その他	121	182
貸倒引当金	△8	△1
<b>固定資産</b>	<b>8,170</b>	<b>8,652</b>
<b>有形固定資産</b>	<b>5,705</b>	<b>5,725</b>
建物及び構築物	1,262	1,154
機械装置及び運搬具	484	512
工具器具備品	39	78
土地	3,918	3,909
建設仮勘定	0	43
その他	—	28
<b>無形固定資産</b>	<b>209</b>	<b>543</b>
<b>投資その他の資産</b>	<b>2,255</b>	<b>2,383</b>
投資有価証券	532	621
長期貸付金	97	138
投資不動産	1,072	1,205
その他	614	458
貸倒引当金	△61	△41
<b>資産合計</b>	<b>17,529</b>	<b>18,023</b>

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当連結会計年度 (平成24年3月31日)
<b>■負債の部</b>		
<b>流動負債</b>	<b>1,651</b>	<b>2,109</b>
支払手形及び買掛金	984	1,180
未払金	229	445
未払費用	70	100
未払法人税等	148	65
未払消費税等	73	71
賞与引当金	121	211
環境対策引当金	4	—
その他	18	34
<b>固定負債</b>	<b>131</b>	<b>124</b>
繰延税金負債	1	4
退職給付引当金	79	84
役員退職慰労引当金	10	10
資産除去債務	12	—
その他	28	25
<b>負債合計</b>	<b>1,782</b>	<b>2,233</b>
<b>■純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>	<b>15,873</b>	<b>15,882</b>
資本金	2,121	2,121
資本剰余金	1,865	1,865
利益剰余金	12,015	12,025
自己株式	△129	△129
<b>その他の包括利益累計額</b>	<b>△150</b>	<b>△118</b>
その他有価証券評価差額金	△35	10
繰延ヘッジ損益	18	45
為替換算調整勘定	△134	△174
<b>少数株主持分</b>	<b>24</b>	<b>25</b>
<b>純資産合計</b>	<b>15,746</b>	<b>15,789</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>17,529</b>	<b>18,023</b>

注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。



## 連結損益計算書

(単位:百万円)

	前連結会計年度 平成22年4月1日から 平成23年3月31日まで	当連結会計年度 平成23年4月1日から 平成24年3月31日まで
売上高	11,541	12,454
売上原価	7,803	8,003
売上総利益	3,737	4,451
販売費及び一般管理費	3,186	3,437
営業利益	551	1,013
営業外収益	154	150
営業外費用	235	390
経常利益	470	773
特別利益	29	20
特別損失	68	663
税金等調整前当期純利益	431	131
法人税等	205	69
少数株主損益調整前当期純利益	226	61
少数株主利益(△損失)	△4	3
当期純利益	230	58

## 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

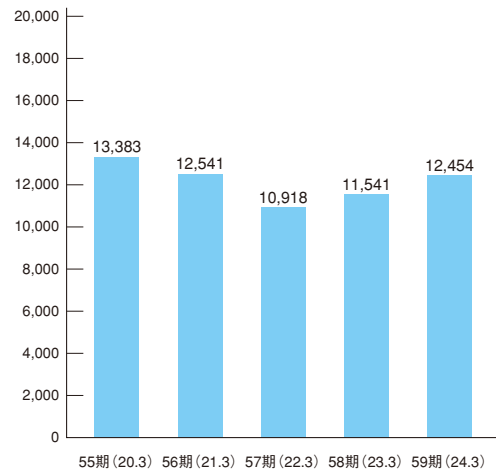
	前連結会計年度 平成22年4月1日から 平成23年3月31日まで	当連結会計年度 平成23年4月1日から 平成24年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,075	△518
投資活動によるキャッシュ・フロー	△311	△785
財務活動によるキャッシュ・フロー	△149	△49
現金及び現金同等物に係る換算差額	△32	△13
現金及び現金同等物の増減額	581	△1,367
現金及び現金同等物の期首残高	2,062	2,644
現金及び現金同等物の期末残高	2,644	1,276

### ■ 損益ポイント

1. 売上原価率が前連結会計年度に比べ3.3ポイント改善しております。
2. 営業外費用に為替差損331百万円計上しております。
3. 特別損失に訴訟関連損失645百万円計上しております。

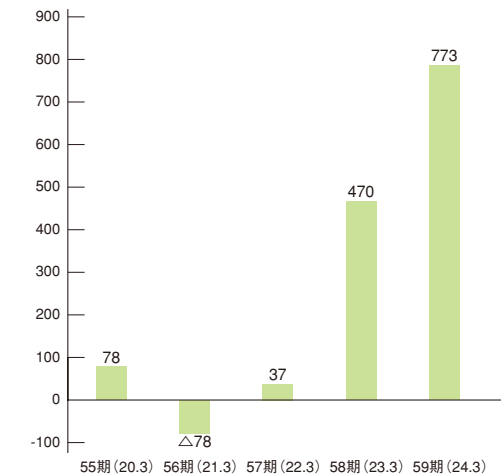
## ▽売上高の推移

(単位:百万円)



## ▽経常利益の推移

(単位:百万円)



安定した明るい未来の暮らしのために、植林事業を推進しています。

● 植林地レポート



Falcata Seeds



Thanks Earth. Thanks People.

**ECO-RING  
NOW**

ルマジャン工場新設によってつながる植林一貫生産体制。

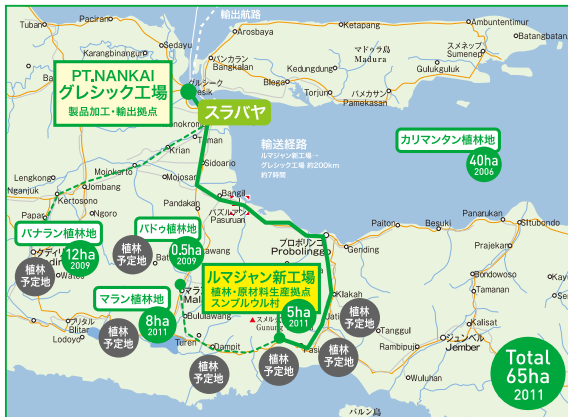
## ルマジャン工場を新設

PT. NANKAI INDONESIA

# 植林プラットフォーム化構想。

2012年3月、ルマジャンに製材工場を新設。これによって植林運営から収穫・一次加工をルマジャン工場で行ない、二次加工をスラバヤのグレシック工場で行なうという、種蒔きから二次加工プロセスまでのプロダクトラインが構築されます。その後、日本での三次加工・販売活動・輸送業務とつながり、長年の構想であった世界と自然との共存をテーマにした植林一貫生産体制の基礎が築かれます。

ルマジャン工場周辺に55haの植林地を7エリア拡大し、自社栽培分のファルカタで原料の全てを賄う自給自足生産体制に移行していく計画です。



## 株式の状況

(平成24年3月31日現在)

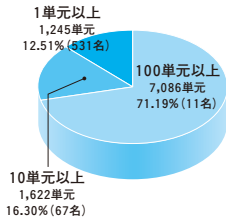
### 総数

発行可能株式総数…………… 20,000,000株  
 発行済株式の総数…………… 10,095,800株  
 株主数…………… 763名(前期末比43名増)

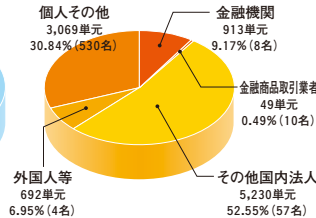
### 大株主

株主名	持株数	持株比率
南海興産株式会社	2,943千株	29.15%
財団法人南海育英会	1,554	15.39
株式会社百十四銀行	467	4.63
SIX SIS LTD.	441	4.36
南海プライウッド株式会社	408	4.04
丸山修	302	2.99
小林茂	270	2.67
株式会社愛媛銀行	243	2.40
CLARIDEN LEU LTD	178	1.76
南海プライウッド従業員持株会	152	1.51

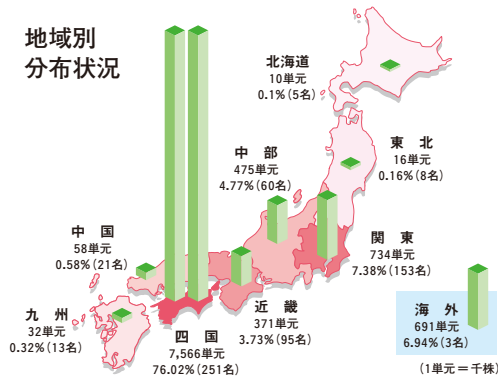
### 所有単元数別分布状況



### 所有者別分布状況



### 地域別分布状況



## 会社概要

(平成24年3月31日現在)

商号 南海プライウッド株式会社  
 本社 〒760-0067 香川県高松市松福町一丁目15番10号  
 電話 087(825)3615 (人事総務グループ)

インターネットホームページ <http://www.nankaiplywood.co.jp>

設立 昭和30年4月16日  
 資本金 21億21百万円  
 従業員数 371名(連結1,527名)  
 事業内容 建築内装材の製造・販売  
 事業所 志度工場  
 〒769-2101 香川県さぬき市志度5388番地  
 物流センター  
 〒769-2314 香川県さぬき市造田乙井170番地1  
 朝日新町保税倉庫  
 〒760-0064 香川県高松市朝日新町28番1号  
 上海駐在員事務所  
 上海市崑山開路85号東方国際大廈C座1106室

## 役員

(平成24年3月31日現在)

代表取締役社長	丸山 徹	常勤監査役	秋山 二郎
取締役・執行役員	小紅 正晴	監査役	大川 俊徳
取締役・執行役員	藤村 岳志	監査役	岩部 達雄
取締役・執行役員	正箱 孝史	監査役	村田 剛
取締役・執行役員	丸山 宏	執行役員	小野 彰三
取締役・執行役員	玉置 康洋	執行役員	蓮井 孝治
		執行役員	松浦 義博

## 連結子会社

(平成24年3月31日現在)

木材関連事業 南海港運株式会社  
 PT.NANKAI INDONESIA  
 SENTUHAMONI SDN.,BHD. ※  
 EDA KILANG PAPAN SDN.,BHD. ※  
 ※清算手続き中

電線関連事業 ナンリツ株式会社

## 持分法適用関連会社

(平成24年3月31日現在)

一般管工事業 南海化工株式会社

## 株主メモ

- 事業年度／4月1日から翌年3月31日まで
- 定時株主総会／毎年6月に開催いたします。
- 基準日／定時株主総会の議決権 3月31日
  - 期末配当 3月31日
  - 中間配当 9月30日※その他必要がある場合は、あらかじめ公告する一定の日
- 公告方法／電子公告により当社ホームページに掲載いたします。  
ただし、電子公告によることができないやむを得ない事由が生じた場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
- 上場証券取引所／大阪証券取引所 市場第二部（証券コード 7887）
- 単元株式数／1,000株
- 株主名簿管理人／特別口座の口座管理機関  
三菱UFJ信託銀行株式会社  
【郵便物送付先／各種お問合せ先】  
〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号  
三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部  
電話 0120-094-777（通話料無料）  
〔受付時間 9:00～17:00（土、日、祝祭日、年末年始を除く）〕



南海プライウッド株式会社